

別紙 1 評価基準

評価基準

評価項目、判断基準、評価点及び価格点算定式は以下のとおりとし、(1) から (4) までの合計評価点 100 点満点で評価する。

(1) 提案内容に係る評価項目、評価基準、評価点 (60 点満点)

評価項目 (各 10 点)	評価基準 (配点)	評価				
		とても優れている 10	優れている 8	普通 6	やや劣る 4	劣る 2
業務の実施体制及びその特徴	担当者の配置や構成が的確であり、迅速かつ柔軟に対応できる					
基礎調査業務結果の理解	基礎調査結果を理解し、適切に課題を把握している					
基礎調査を踏まえた基本構想への考え方	基礎調査結果を基本構想に反映させる方策が考えられている					
基本構想の構成及びその考え方	構成及び、その考え方が適切である					
重点項目に対する考え方	重点項目の捉え方及び、その理由等が適切である					
ヒアリング・サウンディングの考え方	ヒアリング・サウンディングの必要性を理解し、対応が検討されている					

(2) ヒアリングに係る評価項目、評価基準、評価点 (15 点満点)

評価項目	評価基準 (配点)		とても優れている 5	優れている 4	普通 3	やや劣る 2	劣る 1
ヒアリング (15 点)	専門技術力	説明が提案書の内容を補完しており、専門技術を十分に発揮できると認められるか。					
	対応力	質問に対する応答が明快か。					
	熱意	積極的に取り組む意欲があったか。					

(3) 価格点について (10 点満点)

価格点の算出に当たっての算定式は、以下の式のとおりである。

なお、価格点は小数点第 1 位を四捨五入して求めるものとする。

$$\text{価格点} = 10 \text{ 点} \times \text{全提案価格中最も低い提案価格} / \text{当該応募者による提案価格}$$

(4) 実績及び体制に係る評価項目、評価基準、評価点 (15 点満点)

評価項目		評価基準	配点
組織評価 15 点	履行実績 要件	平成 27 年 1 月 1 日以降において、「4 参加資格」の要件⑧の実績において、類似性と施設規模が以下のいずれに該当するか。 A：同種業務の各実績について類似性が高いと判断され、受注額が本業務より大規模である場合 15 点 B：同種業務の各実績について類似性が高いと判断され、受注額が本業務と同等である場合 12 点 C：同種業務の各実績について類似性が高いと判断されるが、受注額が本業務より小規模である場合 9 点 D：同種業務の各実績について類似性は低いと判断されるが、受注額が本業務より大規模である場合 6 点 E：同種業務の各実績について類似性は低いと判断されるが、受注額が本業務と同等である場合 3 点 F：同種業務の各実績について類似性が低いと判断され、受注額が本業務より小規模である場合 0 点	

※上表の「履行実績要件」において、本業務の受注額とは「委託費の上限額 12,000,000 円（税込み）」をいう。